

事業所名		Fire★works		支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		6 月		1 日			
法人（事業所）理念		小さな学校Fire★works 花火のようにキラキラ輝き、自己発信ができる人に、場所になるように-かく（手●）みる（目●）きく（耳●）いう（口●）感じる（心●）五感で楽しみ、それぞれの長所を生かし、療育や教育をする中で“生きる力”を育てていきます。													
支援方針		●つくる：好きなこと探し 書（書道・硬筆・書ART）、English Lesson、絵画、粘土、ダンスなどの活動を通じて、星のまたたき・花火のかげやきにも似た「うれしい!」「たのしい!」の気持ちに寄り添います。 ●つながる：コミュニケーションのかたち つくる活動を通じて、気持ちを伝えたり、大切にしたりする体験を重ねる。他者との距離感や、自分の大切なものを知っていく。生活スタイル ●くらし：社会体験活動を通じてスキルアップする中で、暮らしを丁寧に想像し、積み重ねていく。													
営業時間		9 時		30 分		18 時		0 分		まで		送迎実施の有無		あり	
支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	身体的および精神的健康の向上が重視されます。子どもが健全な生活習慣を身につけることや、心の安定を保つことが大切です。基本的な生活スキルを取得することは、自立への第一歩であり、他の発達領域とも深く関連しています。 （トイレトレーニング、調理実習、理科の実験や制作）													
	運動・感覚	身体能力の向上や感覚の発達に焦点を当てています。体を動かすことによって、子どもたちは自己信頼を高め、自己表現の場を広げることができます。この領域での成長は、言語能力や社会的スキルにも良い影響を与えます。 （スノーズレンルーム、ボルタリング完備、大神子海岸各公園、札所など活動しながら体力増進）													
	認知・行動	論理的思考や問題解決能力を養うためのキーポイントとなるのがこの領域です。創造性や探求心を育む活動が特に重要視されており、認知・行動の発展は、社会生活を営む上で大切な要素となります。 （制作活動全般、SST）													
	言語コミュニケーション	言語の理解力や表現力を強化する支援が行われます。言語能力の向上は他者との円滑なコミュニケーションを促進し、将来的なさまざまな社会的状況での成功に寄与します。 （英語、中国語などグローバルに富んだ授業展開、世界の風習を学ぶ授業、各レッスンに合わせた平仮名カタカナ漢字を産す）													
	人間関係社会性	他者との良好な関係を築くために必要な社会的スキルを発達させることが、この領域の主な目的です。社会性の向上は、集団内での適切な行動を可能にし、今後の社会生活における重要な基盤となります。 （社会体験：鑑染体験、ハレルヤキッチン工場見学、科学センター、ワンダーランド、インドアパーク、淡路島牧場、市場見学、防災センターなど）													
家族支援		子どもたちおよびその家族の意見やニーズをしっかりと組み込むことが求められます。具体的には、子どもたちがどのように感じているのか、どのようなサポートが必要かを探ること、また家族が抱える課題を理解し、それを支援に活かすことが不可欠です。このプロセスが、有意義で実質的な支援につながります。家庭は支援において非常に重要な役割を担っています。家族との良好なコミュニケーションを築くことで、支援の効果が高まり、家族の意見を考慮した支援計画が策定できます。このように家庭との連携を強化することで、子どもたちにとってより良い環境が整えられます。 ・応用行動分析、ABA ・人的物的構造化 ・ドロップスカード ・個別プログラム				移行支援									
地域支援・地域連携		・教育機関・保育施設：日常的な教育や支援を行い、状況を把握するために継続的な情報交換を行います。 ・医療機関：子どもの健康状態を監視し、必要な医療サービスを提供するために健康情報を共有します。 ・発達支援センター：特別な支援が必要なお子さんに対し、具体的なプログラムを提供します。 ・相談支援：相談を受け、ご家族の負担を軽減する役割を果たします。 関係機関との連携は、それぞれの専門性を活かした支援体制を構築するために重要です。教育機関、医療機関、発達支援センターなどとの情報共有や役割分担によって、子どもとその家族にとってより質の高い支援が提供できるように努めます。				職員の質の向上									
								・職員研修 ・指導案の書き方や実践の仕方 ・社外研修参加 ・職員会議 ・実践研修 ・オンライン研修 ・資格習得 「理念の共有」 「職員同士の相互理解」 「職員個々の経験の尊重」 よりよい支援ができるよう、管理的機能・教育的機能・支持的機能を発揮しながら教員、支援者を支援する様務めています。							
主な行事等		●季節に合わせた知識・学習や画材制作、イベント、社会体験、調理などを企画しています。また、英語に絡めて、世界の伝統も学んでいます。 ●春 ひな祭り（3月3日）・ホワイトデー（3月14日）・お花見（主に3月下旬～5月上旬）・イースター（4月・日付は毎年変わる）・大神子海岸ハイキング（4月～5月ごろ） 子どもの日（5月5日）・母の日（5月の第2日曜日） ●夏 父の日（6月第3日曜日）・七夕（7月7日）・花火大会・水遊び感覚統合・夏祭り・阿波踊り、徳島駅探検 ●秋 十五夜（9月頃）・敬老の日（9月第3日曜日）・ハロウィン（10月31日）・七五三（11月15日）・秋探検紅葉（9月～11月）・プラネタリウム ●冬 クリスマス（12月25日）パーティ・クラシックコンサート・大掃除・事納大晦日（12月31日）・お正月（1月）・節分（2月3日）・バレンタインデー（2月14日） 新年祈願・書初め・初詣・道路に合わせて地域探検													